授業づくり研修講座　実践レポート

中原小学校　４年　小寺　延欣

単元名　第４学年　国語　「お気に入りの場所」

目標　　お気に入りの場所の場所を思い浮かべて、理由を添えながら文章を書き、思いがはっきり伝わるかどうかを読み直して、より伝わりやすいように書き直す

実践のポイント

この単元は収集した資料を効果的に使い、説明する文章を書くことである。自身のお気に入りの場所を

よりよく伝えるためにいくつか仕掛けをした。

1. １つの文章を長い時間かけて完成させるのではなく、短い時間で一度仮完成をさせることで書きながら考えさせるとともに再考させたこと
2. 仮完成時に行った工夫
3. 教師が助言をして加筆・修正したこと。
4. 友達同士で文章の内容を見合い、考え直したこと
5. 文章の他に写真を貼らせた。そうすることで、相手により伝わりやすい文章を書こうと興味関心をもたせたこと

単元計画

1. 自身のお気に入りの場所を探す。
2. 書きたいことを集め、ノートに書く。ノートに書いた中から文章にしたい事柄を選ぶ。
3. はじめ・なか・おわりを意識して本文を書く。（仮完成　⑴　）
4. パソコンルームへ行き、自分が文章にしたい事柄がより伝わるよう画像を選び印刷をする。

５．６．画像を含めて構成を考えた上で文章を書く。（仮完成　⑵　）

７．　　友達同士で文章を見直して間違えている箇所を直す。

８．９．本番用の紙を用い、間違えを直した作品を完成させる。

９．　　お気に入りの場所を発表する

成果と課題

1. 一度仮完成をさせることで、達成感が得られることが多くなり、興味関心をもたせることができたように思う。
2. 文章を見直すことでよりよい文章を作ることができた。
	1. 内容について少なからず修正することはできたが、一人ひとりにかけられる時間はとても少なかった
	2. 画像付きで仮完成をしているので文章を見せ合うとき、興味を持ちながら取り組むことができた。

　　　 しかし、友達と直しあう際は誤字の修正が多くなってしまい、構成などを修正する児童が少なかった。

1. 画像を印刷させたことで、相手により伝わりやすくなり、文章を読みながら画像を見せるなど、相手に伝わりやすくなるツールとなった。子どもたちも意欲的に画像を選び貼っていた。

　しかし、画像に頼ってしまう児童が増え、文章が多少拙くても伝えることができたので、文章で伝える単元において積極的に使うのはどうなのか再考する必要があった。